

平成 29 年度第 1 回納本制度審議会オンライン資料の補償に関する小委員会

会次第

◇ 日時 平成 30 年 3 月 23 日（金） 午後 1 時 30 分時開催

◇ 場所 本館 3 階総務課第一会議室

会次第

1. 小委員長の挨拶
2. 電子書籍・電子雑誌収集実証実験事業について
3. 学術専門書系の電子書籍・電子雑誌の出版・流通事情に関するヒアリング
4. 今後の予定について

平成 29 年度第 1 回納本制度審議会オンライン資料の補償に関する小委員会
配布資料

	ページ
(資料 1) 納本制度審議会オンライン資料の補償に関する小委員会及び専門委員名簿（五十音順）・・・・・・・・・・	1
(資料 2) 電子書籍・電子雑誌収集実証実験第 2 段階における枠組み（案）【改】・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2-3
(資料 3) 学術専門書系の電子書籍・電子雑誌の出版・流通事情について（ヒアリング項目）・・・・・・・・・・	4
(参考資料 1) 電子書籍・電子雑誌収集実証実験事業について（平成 30 年 1 月）・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-18
(参考資料 2) 電子書籍・電子雑誌収集実証実験第 2 段階における枠組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
(参考資料 3) 電子書籍・電子雑誌収集実証実験第 2 段階における枠組みに対する主な意見・・・・・・・・・・	20

納本制度審議会オンライン資料の補償に関する小委員会
所属委員及び専門委員名簿（五十音順）

小委員長	福井 健策	弁護士
委員	植村 八潮	専修大学文学部教授
	遠藤 薫	学習院大学法学部教授
	斎藤 誠	東京大学大学院法学政治学研究科教授
	永江 朗	公益社団法人日本文藝家協会 電子書籍出版検討委員会委員長
	根本 彰	慶應義塾大学文学部教授
専門委員	佐々木 隆一	一般社団法人電子出版制作・流通協議会監事
	三瓶 徹	一般社団法人日本電子出版協会事務局長
	樋口 清一	一般社団法人日本書籍出版協会事務局長

平成 29 年 6 月 12 日
収 集 書 誌 部

電子書籍・電子雑誌収集実証実験第 2 段階における枠組み（案）【改】

【第 2 段階の要件】

- ① 納入代行機関を介して出版社から収集した電子書籍（電子雑誌を含む。以下同じ。）を、国立国会図書館（以下「館」という。）の管理するサーバに保管する。
- ② ①で保管した電子書籍の利用提供を行う。
- ③ 最大で出版社 100 社から、資料 10,000 点程度を収集する。

【制度化の要件】

- ① 第 2 段階の要件①及び②を前提とする。
- ② 収集点数は、段階的に増加させる方向で調整する。

1 収集（第 2 段階、制度化共通）

- ※ 1（収集）及び 2（メタデータ）中「納入代行機関」とあるのは、第 2 段階においては「実証実験受託者」と読み替えるものとする。
- 収集対象は、市場で流通・配信されているものとし、2（メタデータ）から 4（利用）までが実現できるものであることとする。
 - 館は、納入代行機関を指定し、当該機関を経由して収集する仕組みを設ける。出版社は、納入代行機関との契約により、納入を代行させる。
 - 収集に係る具体的な仕組みの構築及び運用に当たっては、出版関係者と館との協議により、合意の下に進めることとする。DRM についても、この合意に基づき、館における電子書籍の長期保存及びアクセス保証並びにセキュリティの確保の観点から最適な方法で管理するものとする。

2 メタデータ（第 2 段階、制度化共通）

- 納入代行機関から送付される段階のメタデータについては、館にとって必要最低限の項目を満たしていることとする。必須項目については現在検討中であるが、出版界での標準化の動きや既存業務フロー、国際的なメタデータ標準化の動き等を考慮する。また、必須項目の在り方については、データを取り込む館のシステムの仕様と併せて検討する。
- 制度化に当たっては、館がメタデータを作成した電子書籍の受入日について、受入証明等を行うことを想定する。受入証明時に必要な水準のメタデータの整備を検討する。

- 収集した電子書籍について館が作成したメタデータは、他のメタデータと連携して検索・参照等を行うことが可能な形で提供する方向で検討する。

3 保管（第2段階、制度化共通）

- 収集した電子書籍を館の管理するサーバに保管する。長期にわたって電子書籍を保管するために、災害対策、内部からのデータ流出対策、外部からの不正アクセス対策等の観点から課題を解決する必要がある。

4 利用（第2段階、制度化共通）

- 閲覧は、館の施設内に設置した端末からに限定する。同時閲覧制御を行う。
- 閲覧のためのビューアは、館が指定するものとする。
- プリントアウト提供の可能性については、引き続き検討を行う。

5 利用に供さない期間の設定（制度化）

- 出版社が納入代行機関経由で理由を付して申出を行い、館長がそれを認めた場合には別に定める期間において当該電子書籍は利用に供さないことができるとする仕組みⁱの必要性について、出版界の現状把握や実証実験参加者への調査等を行い、検討を進める。
- 利用に供さない期間中の電子書籍についても、メタデータはホームページ等で公開する方向で検討する（メタデータの提供の在り方については、2を参照）。
- 利用に供さない期間中の電子書籍について、例外として国会や視覚障害者等からの資料請求には応じる方向で検討する。

6 契約等に基づく利用提供（オンライン資料収集制度外の利用者サービス）

- 収集した電子書籍について利用に供さない期間を設けることができることとする一方、電子書籍に係る利用者サービスをできる限り担保するため、契約等に基づく利用提供を行う（フランス国立図書館で実施）。
- 同一タイトルを収集済であるにもかかわらず、館が出版社と有償の利用権契約を締結する等により利用提供を行う仕組みについて、国の事業としての位置づけから合理的な説明が必要となる。

ⁱ 数ヶ月又は数年の期間が一般的とされているが、英国図書館では3年を限度に認めており、更新も可としている。

学術専門書系の電子書籍・電子雑誌の出版・流通事情について
(ヒアリング項目)

1. 発行形態の特徴（ファイルフォーマット等）
2. 流通の状況（配信方式、流通方法等）
3. メタデータ項目の特徴
4. 各出版社におけるデータ保管状況
5. 利用方法の特徴（ビューア、DRM 等）
6. 国立国会図書館によるオンライン資料収集に対する要望

電子書籍・電子雑誌収集 実証実験事業について (平成30年1月)

国立国会図書館
収集書誌部

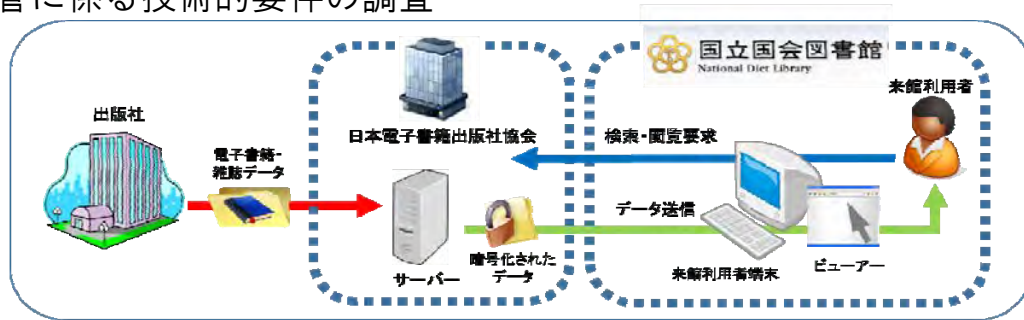


1 実証実験の概要

- ビジネス状況や技術動向を踏まえた実効性のある法制度の設計を行うことを目的として、著作者様、出版社様の御理解と御協力を得て、技術面など残る課題を着実に解決するために実証実験を実施
- 目的
 - (1) 電子書籍・電子雑誌の収集及び長期的な保管・利用の技術的検証（DRM、ファイル・フォーマット等）
 - (2) 国立国会図書館内で電子書籍・電子雑誌を閲覧に供することによる電子書籍・電子雑誌ビジネスへの影響の検証や納入時の費用の調査分析（補償）
- 2段階に分けて実施、日本電子書籍出版社協会（EBPAJ）に委託、平成27年12月開始（第1段階は最長3年間）

1 実証実験の概要（第1段階）

- EBPAJが用意するサーバから国立国会図書館施設内の来館利用者端末への配信による電子書籍・電子雑誌の利用実験、電子書籍・電子雑誌の保管に係る技術的要件の調査

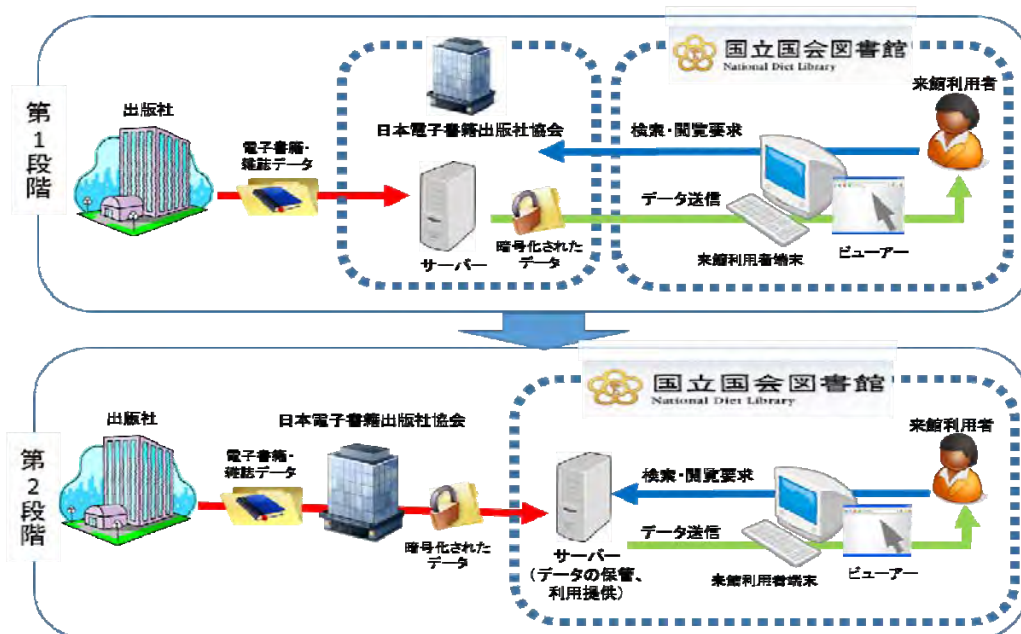


- システムは「電子文庫パブリ」の仕組みを実証実験用にカスタマイズ
- 利用実験での主な検証事項

電子書籍・電子雑誌の閲覧上の課題の検証、実証実験中の利用データを通じた、国立国会図書館内での利用方法、利用者ニーズ等の分析とそれによる電子書籍・電子雑誌ビジネスへの影響の評価

1 実証実験の概要（第2段階）

- 収集した電子書籍・電子雑誌を国立国会図書館の管理するサーバに保管する実験と保管した電子書籍・電子雑誌を利用する実験を想定



2 実施状況

□ 収集状況（平成29年12月19日現在）

コンテンツ数：3,807点

ジャンル：

フィクション、ノンフィクション、実用書、児童書、写真集、コミック、雑誌等

出版社数：37社

朝日出版社、朝日新聞出版、NHK出版、学研ホールディングス、KADOKAWA、河出書房新社、幻冬舎、講談社、光文社、CCCメディアハウス、実業之日本社、集英社、主婦の友社、小学館、祥伝社、新潮社、世界文化社、大和書房、筑摩書房、中央公論新社、東京書籍、東洋経済新報社、徳間書店、PHP研究所、扶桑社、双葉社、ぶんか社、文藝春秋、丸善出版、岩崎書店、ポット出版、ダイヤモンド社、近代文藝社、まむかいブックスギャラリー、イーブックジャパン、第一法規、ポイジャー

ファイル形式：EPUB（リフロー、固定レイアウト）PDF

2 実施状況

□ 閲覧アプリ配信端末数

約730台

□ 端末設置場所

東京本館、関西館及び国際子ども図書館

□ 端末種別

一般利用者用のKSS端末

カウンター職員用端末

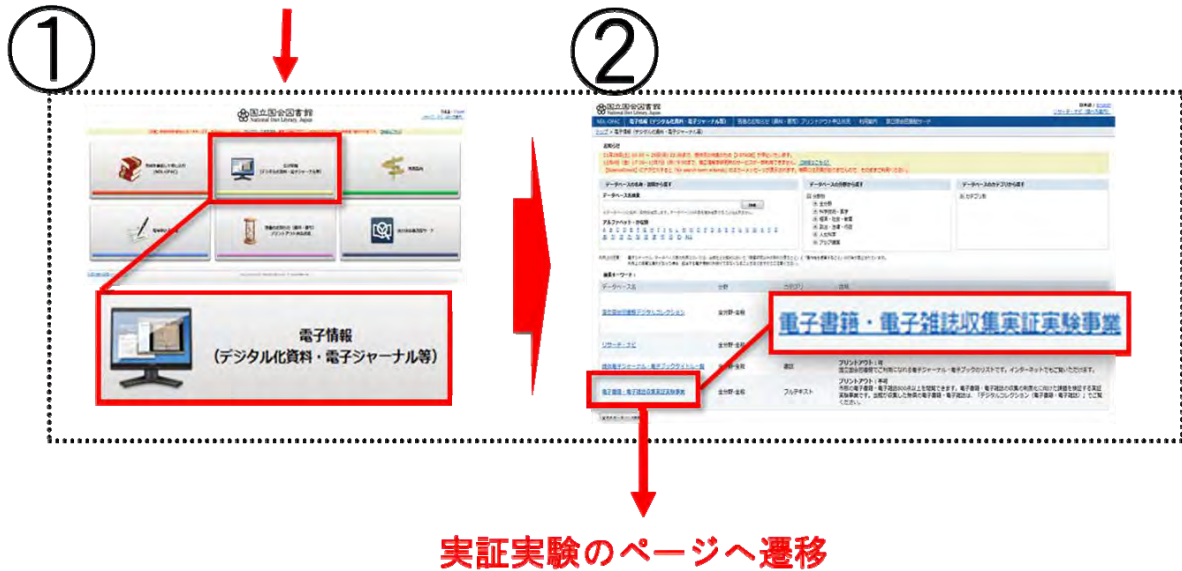
（端末は専用端末ではなく、その他各種のDBも利用可能）

2 実施状況

□ 利用画面

利用者端末のトップメニュー

データベース一覧



2 実施状況

□ 実証実験のトップページ

③ 作品を検索します

キーワードで検索します

総作品数 1418 作品

利用者アンケート

電子書籍のジャンル

詳細検索画面で検索します

文芸 冒険・ハードボイルド・ハードロマン ホラー 歴史小説・時代小説 詩歌・戯曲・古典 エッセイ・対談・座談 ドキュメンタリー・ノンフィクションルポ 社会・科学・文化・サブカル 生活・実用・生き方 コミック	ミステリー・サスペンス SF・伝奇・ファンタジー 経済・社会小説 歴史ノフィクション・戦記 海外文学 児童文学・児童書 ビジネス・自己啓発 語学・学習 スポーツ・冒険・アクションヒーロー 雑誌
--	---

ジャンルで検索します

閲覧履歴及びアンケートについて

- ジャンルは、「電子文庫パブリ」のジャンルをベースとし、これに「雑誌」を追加したほか、「コミック」を集約するなどの調整を行っている。
- 検索項目は、「電書協・デジコミ協共通書誌情報 ver. 2.0」を包含。

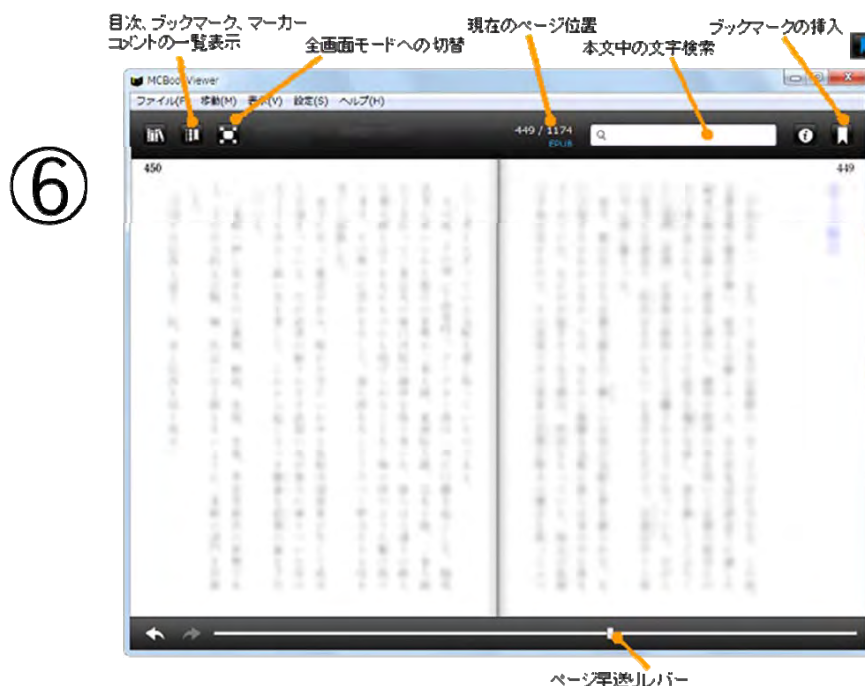
2 実施状況

□ 検索結果一覧及び詳細画面



2 実施状況

□ 閲覧ビューア画面



3 利用状況（ログ分析）

（1）閲覧回数の月別推移

①平成27年12月1日～平成28年9月30日（20台）

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
東京本館	213	126	110	154	82	171	167	145	136	111	1,415
関西館	34	34	36	53	11	24	12	4	5	9	222
計	247	160	146	207	93	195	179	149	141	120	1,637

②平成28年9月23日～平成29年3月31日（671～719台）

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東京本館	140	228	286	215	213	477	694	2,253
関西館	31	37	24	25	24	43	83	267
子ども図書館	3	0	0	0	4	2	19	28
計	174	265	310	240	241	522	796	2,548

3 利用状況（ログ分析）

（1）閲覧回数の月別推移

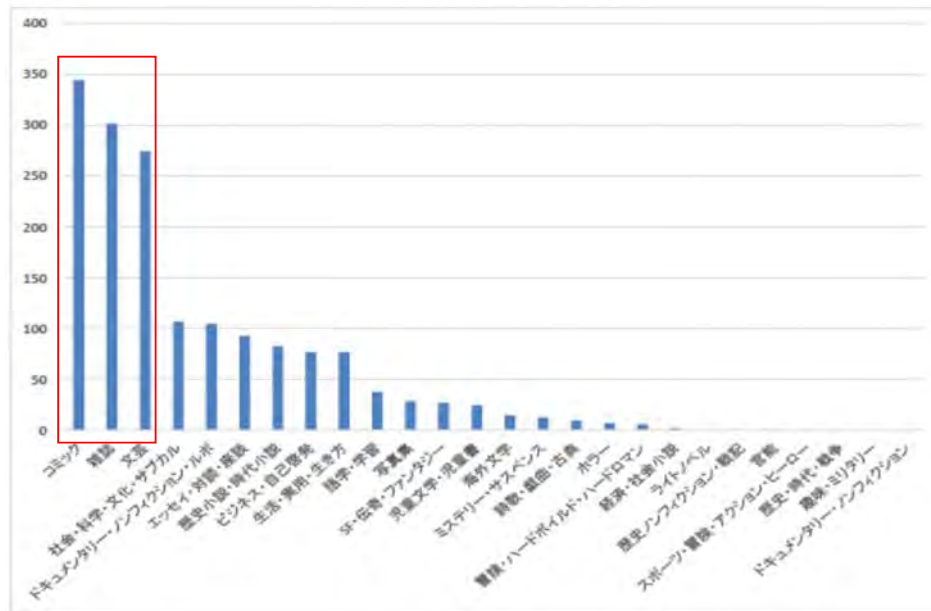
③平成29年4月1日～平成29年12月31日（731台）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	累計
東京本館	631	653	606	613	785	757	532	697	574				5,848	9,516
関西館	47	80	54	123	65	65	97	87	62				680	1,169
子ども図書館	4	0	26	10	4	11	0	3	0				58	86
計	682	733	686	746	854	833	629	787	636				6,586	10,771

3 利用状況（ログ分析）

(2) ジャンル毎の閲覧回数

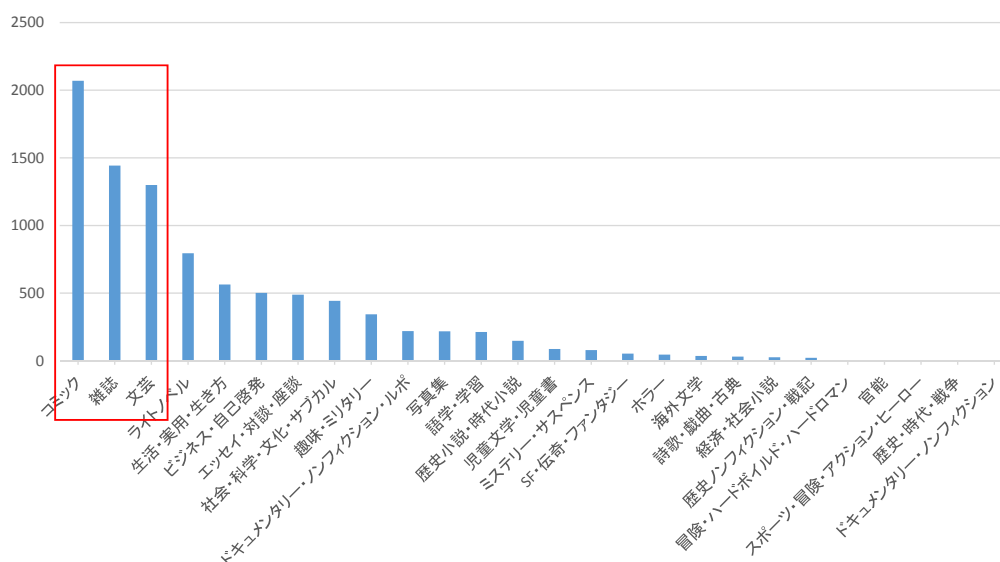
①平成27年12月1日～平成28年9月30日（20台）



3 利用状況（ログ分析）

(2) ジャンル毎の閲覧回数

②平成28年9月23日～平成29年12月31日（671～731台）



3 利用状況（ログ分析）

(3) コンテンツ毎の閲覧回数（上位）

①平成27年12月1日～平成28年9月30日（20台）

項番	タイトル	ジャンル	回数
1	ウロボロス—警察ヲ裁クハ我ニアリー 1巻	コミック	27
2	BTOOOM! 1巻	コミック	22
3	静かなるドン(1)	コミック	21
4	「おつかれさま」を英語で言いたくないですか？	文芸	18
5	東京 五つ星の甘味処	雑誌	15
6	FEEL YOUNG 2015年1月号【期間限定】	雑誌	14
7	【カラー版】アヘン王国潜入記	エッセイ・対談・座談	13
8	三国志(一)	歴史小説・時代小説	12
9	三国志(四)	歴史小説・時代小説	12
10	芥川賞全集 第一巻	文芸	11
11	GoodsPress2015年11月号	雑誌	11
12	アダルト系	ドキュメンタリー・ノンフィクション・ルポ	11
13	アザラシの赤ちゃん	文芸	10
14	三国志(二)	歴史小説・時代小説	10
15	潮目 フシギな震災資料館	写真集	10
16	LANDSCAPE DESIGN 場を創る	写真集	10
17	あの戦争と日本人	ドキュメンタリー・ノンフィクション・ルポ	9
18	AFRICA	写真集	9
19	こちら凡人組 1	コミック	8
20	日本のいちばん長い日(決定版) 運命の八月十日	ドキュメンタリー・ノンフィクション・ルポ	8

3 利用状況（ログ分析）

(3) コンテンツ毎の閲覧回数（上位）

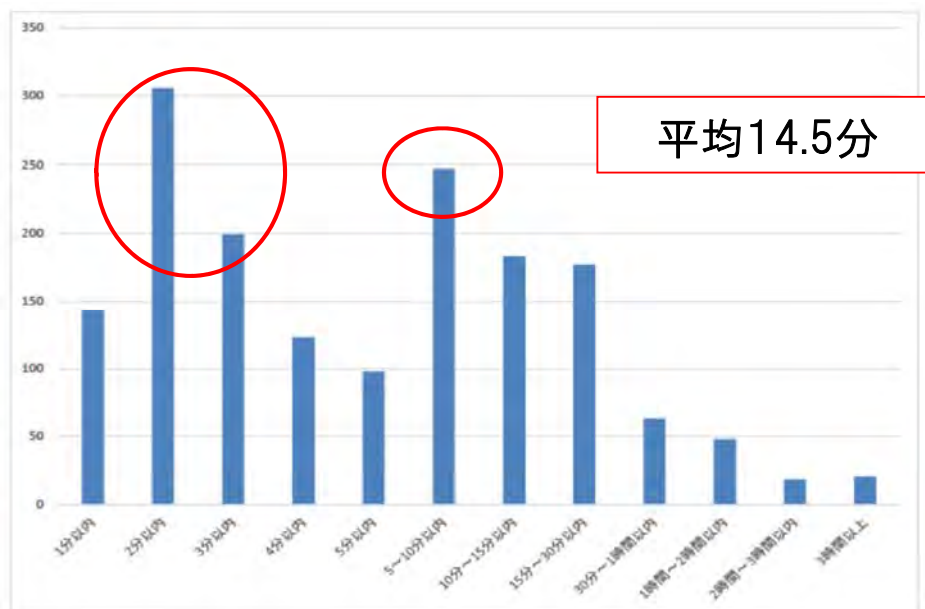
②平成28年9月23日～平成29年12月31日（671～731台）

項番	タイトル	出版社	ジャンル	回数
1	必笑小咄のテクニク	集英社	エッセイ・対談・座談	114
2	かりあげクン 1	双葉社	コミック	111
3	あなたがきらめくエコ活！	東京書籍	文芸	95
4	AFRICA	近代文藝社	写真集	93
5	武林クロスロード	小学館	ライトノベル	88
6	東京タワー—たもとのお寿司屋さん	まむかいブックスギャラリー	エッセイ・対談・座談	87
7	BTOOOM! 1巻	新潮社	コミック	85
8	傷のあるリンゴ	東京書籍	文芸	67
9	LANDSCAPE DESIGN 場を創る	イーブックイニシアティブジャパン	写真集	65
10	静かなるドン(1)	実業之日本社	コミック	64
11	沖縄の島へ全部行ってみたサー	東京書籍	雑誌	60
12	潮目 フシギな震災資料館	ポット出版	写真集	60
13	Gift with BIKE：自転車私が私にくれた贈りもの	まむかいブックスギャラリー	エッセイ・対談・座談	58
14	ウロボロス—警察ヲ裁クハ我ニアリー 1巻	新潮社	コミック	56
15	偽る神のスパイバー	小学館	ライトノベル	53
16	美味しい話にや肴あり 1巻	ぶんか社	コミック	49
17	織田信長 小学館版 学習まんが人物館	小学館	趣味・ミリタリー	47
18	BTOOOM! 19巻	新潮社	コミック	45
19	とらぶるニャンコ 1	ぶんか社	コミック	44
20	学習まんが 少年少女日本の歴史1 日本の誕生 —旧石器・縄文・弥生時代—	小学館	趣味・ミリタリー	43

3 利用状況（ログ分析）

（4）コンテンツ閲覧時間

①平成27年12月1日～平成28年9月30日（20台）



3 利用状況（ログ分析）

（4）コンテンツ閲覧時間

②平成28年9月23日～平成29年12月31日（671～731台）



4 利用状況（アンケート集計）

□ 利用者アンケート集計結果

集計期間：平成27年12月1日～平成29年12月31日

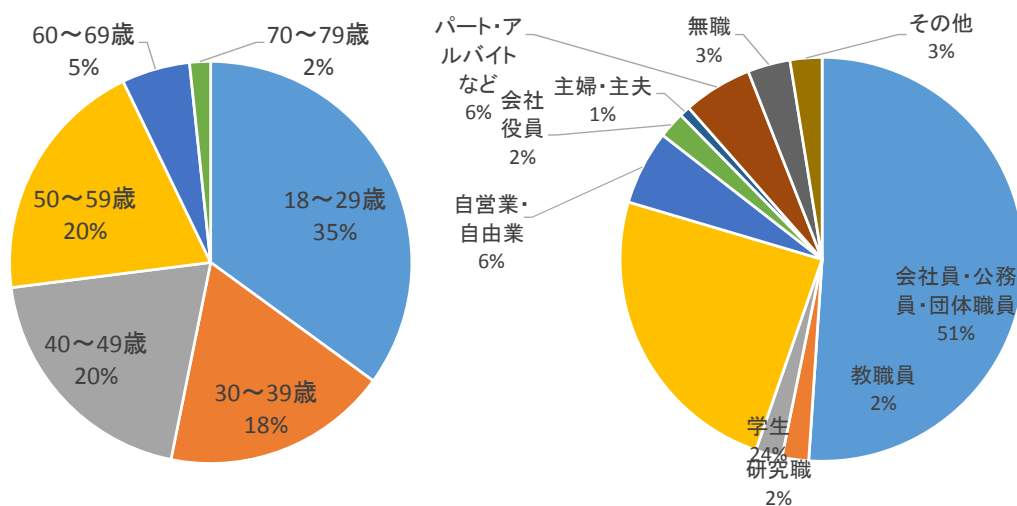
集計数：239人（ウェブ189人、紙50人）

項目数：17問

- Q1 あなたの年齢をお答えください
- Q2 あなたの職業をお答えください
- Q3.1 電子書籍の館内閲覧について評価してください - 電子書籍作品の検索方法
- Q3.2 電子書籍の館内閲覧について評価してください - 電子書籍閲覧ビューア全般の読みやすさ
- Q3.3.1 電子書籍の館内閲覧について評価してください - 電子書籍閲覧ビューアの機能 - 文字サイズの変更機能
- Q3.3.2 電子書籍の館内閲覧について評価してください - 電子書籍閲覧ビューアの機能 - 書体(フォント)の変更機能
- Q3.3.3 電子書籍の館内閲覧について評価してください - 電子書籍閲覧ビューアの機能 - 本文内のテキスト検索
- Q4 館内での電子書籍閲覧をどのくらい利用しましたか？
- Q5 今回の来館で閲覧した電子書籍の冊数を教えてください
- Q6 館内での電子書籍閲覧において、あった方が良い機能をお答えください
- Q6.1 館内での電子書籍閲覧において、あった方が良い機能をお答えください - 「その他」の回答
- Q7 電子書籍を読んだことがありますか？
- Q8 電子書籍の読書頻度をお答えください
- Q9 電子書籍を購入したことはありますか？
- Q10 電子書籍に興味を持ちましたか？
- Q10.1 電子書籍に興味を持ちましたか？ - 「その他」の回答
- Q11 国立国会図書館内の電子書籍閲覧における、ご意見・ご感想をお聞かせください

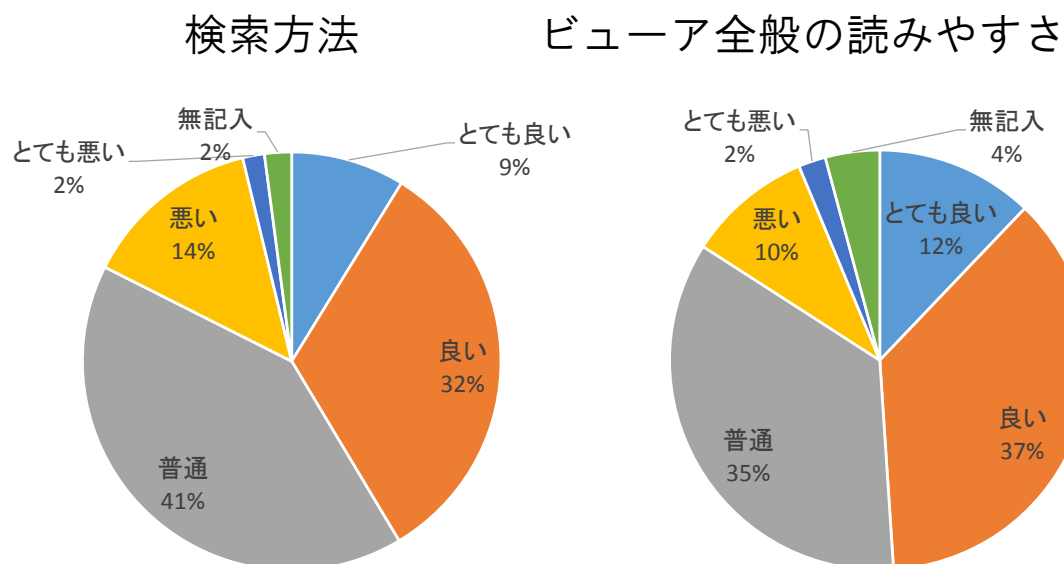
4 利用状況（アンケート集計）

(1) 属性（年齢・職業）



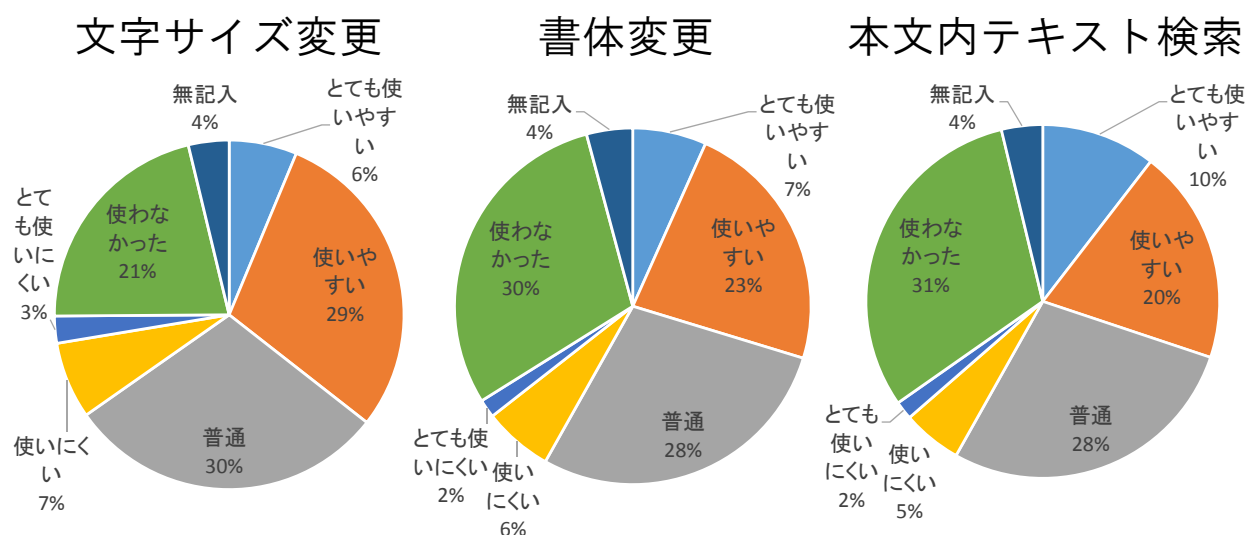
4 利用状況（アンケート集計）

(2) 機能評価（とてもよい、よい、普通、悪い、とても悪い）



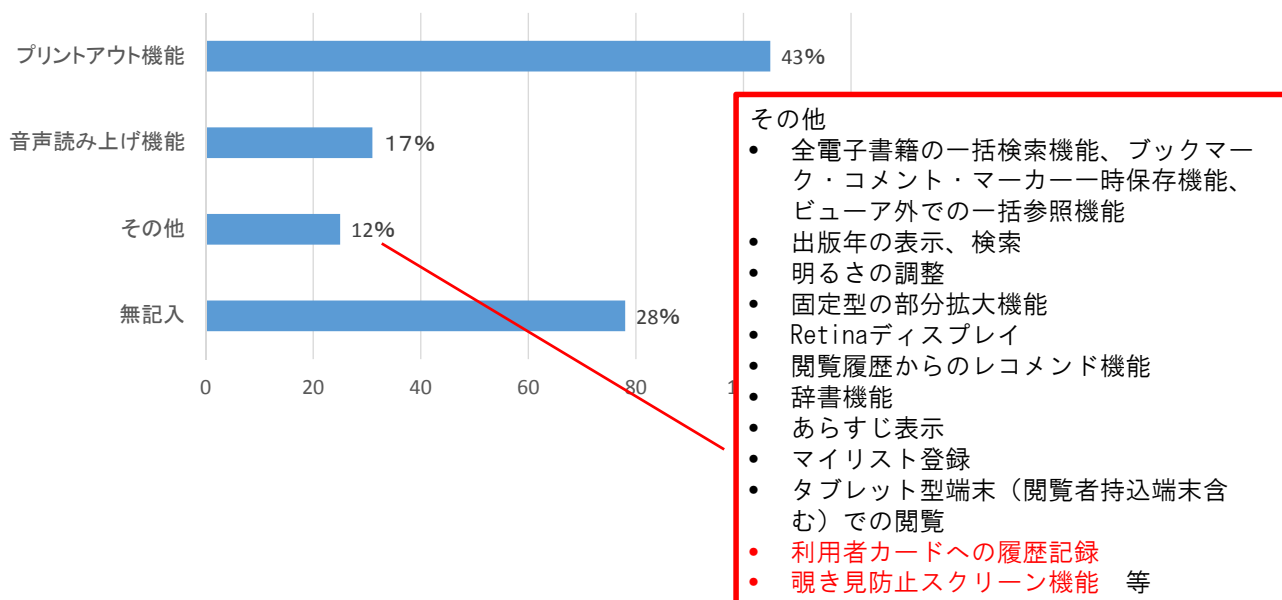
4 利用状況（アンケート集計）

(3) 閲覧ビューアの機能評価（とても使いやすい、使いやすい、普通、使いにくい、とても使いにくい、使わなかった）



4 利用状況（アンケート集計）

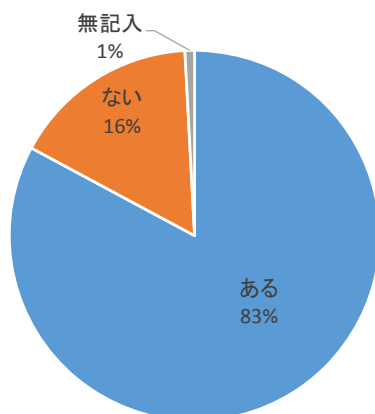
（4）欲しい機能（複数回答）



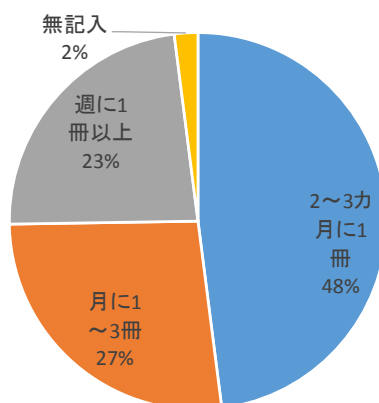
4 利用状況（アンケート集計）

（5）電子書籍の読書経験・頻度

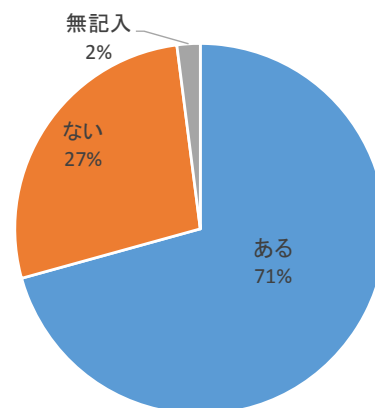
読んだ経験の有無



読書頻度



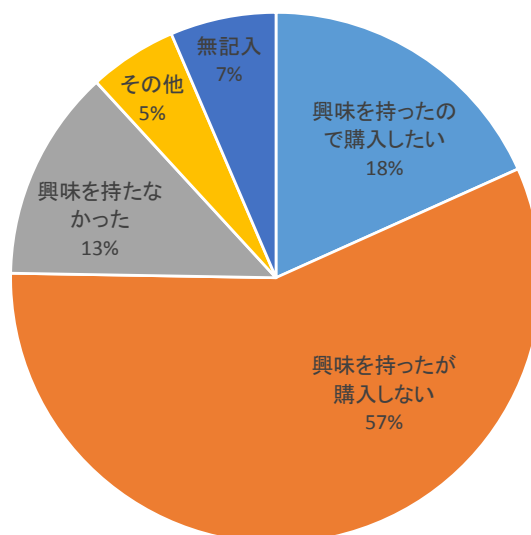
購入経験の有無



4 利用状況（アンケート集計）

（6）電子書籍への興味

（読んだり購入したことがない回答者が対象）



4 利用状況（アンケート集計）

（7）主な意見・感想

使いやすさ、機能	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> ビューアは読みやすい。クオリティが高い。（複数）<input type="checkbox"/> ダウンロード時間を短縮してほしい。（複数） ダウンロードに何分かかるか事前に知りたい。<input type="checkbox"/> 検索結果に表紙の書影があり、とてもわかりやすい。<input type="checkbox"/> ジャンル分けがわかりにくい。将来的にはしっかりとした検索機能がほしい。<input type="checkbox"/> 文字拡大、フォント変換など便利な機能に気付かなかった。（複数）<input type="checkbox"/> 電子書籍の特徴を知らない人向けにわかりやすい画面にするのがよい。<input type="checkbox"/> テキスト検索が使いにくい。選択すると検索結果が消えてしまう。<input type="checkbox"/> 文字サイズが小さい。<input type="checkbox"/> 検索精度が低い。（複数）<input type="checkbox"/> 電子書籍は閲覧申込みをせず、すぐに読めるところがよい。<input checked="" type="checkbox"/> 検索機能をNDL-OPACと統合してほしい。
端末	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> デスクトップPCの液晶モニターでの長時間の読書はつらい。（複数）<input type="checkbox"/> デスクトップPCの台数不足が心配。（複数）<input type="checkbox"/> タブレット端末等での利用を考えてほしい。（複数）<input type="checkbox"/> 縦型画面の端末を増やしてほしい。<input type="checkbox"/> タッチパネル型でクリック音がしないような端末が望ましい。

4 利用状況（アンケート集計）

（7） 主な意見・感想

コンテンツ	<ul style="list-style-type: none">□ ジャンルを含めて興味がある本がそろっている気がする。□ コンテンツ数が少なく、判断しづらい。目的のものが見つからない。充実を期待する。（複数）□ 何が読めるのかがわからない。リストがあれば便利。（複数）□ 電子版のみの書籍の保存は特に重要で、国立国会図書館が十分な役割を果たすべき。（複数）□ 個人出版物も収集してほしい。□ 版違いも収集してほしい。□ 電子雑誌のジャンル等を拡大してほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none">□ 個人情報と履歴が結びつくのではないかと不安感がある。□ 国立国会図書館での取組をもっと宣伝すべき。（複数）□ 図書カウンターで借りなくてもすぐ見られるのがよい。内容を確認するにはPDFでもよいのではないか。□ デジタル媒体は管理・保管が容易で、閲覧に適している。紙の本の傷み防止になる。□ マンガや娯楽誌の閲覧に寄与している感は否めない。

（参考）

□ 実証実験事業第1段階会議（有識者会議）

- 制度化の要件検討のために必要な電子書籍に係る動向等の調査研究、実証実験に対する助言
 - ・ 収集対象（電子書籍の作成・流通の状況、セルフパブリッシングの状況等）
 - ・ 収集方法（電子書籍ファイルの保管・管理状況、電子書籍の販売方法、電子書籍の制作・流通に係る費用等）
 - ・ 整理・組織化（電子書籍の書誌データ、識別子等）
 - ・ 保存（電子書籍の長期利用に向けた取組等）
 - ・ 利用・提供（電子書籍貸出サービスのビジネスモデル、アクセシビリティ）

□ 実証実験事業連絡会議

- 参加出版社との連絡調整、実証実験の進捗報告・フィードバック

電子書籍・電子雑誌収集実証実験第 2 段階における枠組み（案）

【第 2 段階の要件】

- ① 電子取次を介して出版社から収集した電子書籍（電子雑誌を含む。以下同じ。）を、国立国会図書館（以下「館」という。）の管理するサーバに保管する。
- ② ①で保管した電子書籍の利用提供を行う。
- ③ 最大で出版社 100 社から、資料 10,000 点程度を収集する。

1 収集

- 収集対象は、市場で流通・配信されているものとし、以下の 2（メタデータ）から 4（利用）までが実現できるものであることとする。
- 実証実験受託者を納入代行機関に指定し、当該機関を経由して収集する。出版社は、納入代行機関との契約により、納入を代行させる。
- 館が指定する方式で実証実験受託者が DRM をかけた電子書籍を収集する。
- 館が指定する方式による DRM の在り方については、館と実証実験受託者の間であらかじめ合意しておく。

2 メタデータ

- 電子取次から送付される段階のメタデータについては、館にとって必要最低限の項目を満たしていることとする。必須項目については現在検討中であるが、出版界での標準化の動きや既存業務フロー、国際的なメタデータ標準化の動き等を考慮する。また、必須項目の在り方については、データを取り込む館のシステムの仕様と合わせて検討する必要がある。
- 制度化に当たっては、館がメタデータを作成した電子書籍の受入日について、記事証明等を行うことを想定する。その前提条件となるメタデータの整備が必要となる。

3 保管

- 収集した電子書籍を館の管理するサーバに保管する。長期にわたって電子書籍を保管するために、災害対策、内部からのデータ流出対策、外部からの不法アクセス対策等の観点から課題を解決する必要がある。

4 利用

- 館の施設内に設置した端末での閲覧に限定する。同時閲覧制御を行う。
- 閲覧のためのビューアは、館が指定するものとする。
- プリントアウト提供の可能性については、引き続き検討を行う。

電子書籍・電子雑誌収集実証実験第 2 段階における枠組みに対する主な意見

【取次について】

- ・ 電子書籍等の収集に当たっての電子取次の想定。
- ・ 取次を介さず直接配信されるもの、配信サイトに直接納入されるものについての対応。
- ・ 出版社が納入代行機関と契約し、納入を代行させるとのことだが、当初は国立国会図書館（以下「館」という。）が参加出版者と契約するという想定ではなかったか。

【長期保存上の課題（DRM、ファイルフォーマット等）について】

- ・ 館が指定する DRM をかける、又は館が DRM の制御権を有することは、出版社側にとってはローデータを提供し、館に利活用を委ねることに等しい。出版界の懸念を払拭するために、館は、技術、制度、手続上の課題を整理する必要がある。
- ・ 館におけるデータ管理の運用方法については、出版界にも開示することが必要。
- ・ DRM について、収集経路での話なのか、閲覧の場合の話なのか、整理が必要。
- ・ DRM の問題を含めて、館内での利用提供に限るということを、実際上出版界が納得できるかということに尽きる。

【電子書籍ビジネスへの影響について】

- ・ 紙の本と異なり、電子書籍等はデジタルデータなので無限にコピーが可能である。
- ・ 収集した電子書籍等の館による利活用については、民業を圧迫することのないよう、十分な配慮が必要。

【利用提供の在り方について】

- ・ 第 2 段階における利用提供の在り方については再考する必要があるのではないか。館による電子書籍等の収集は国の機関の行うべきこととして必要だが、民間事業者がコンテンツを提供している間は、館が提供する必要はないのではないか。
- ・ 閲覧と保存を分けて運用するという可能性を検討するべきではないか。